



／龍が地域の環となり、人々を乗せ交流を促すことをイメージ／

## 保健福祉棟3階・多世代交流センター「RINK」のロゴマークが決定

龍ヶ崎市では、令和7年4月オープン予定の龍ヶ崎市役所保健福祉棟3階に設置する多世代交流センター「RINK」のロゴマークを決定しましたので、お知らせします。

「RINK」の管理運営を行う指定管理者である、アクティオ株式会社（本社：東京都目黒区）から、「愛称に加え、施設のロゴマークを制作することで、より多くの方に施設を認知されるのではないか」との提案を受け、本市がこれを了承し、ロゴマークの制作に至ったものです。

同社から提案された複数のデザインの中から施設のコンセプト、愛称に込められた想い、将来像、地域性等を踏まえ、ロゴマークを決定しました。今後、決定したロゴマークは施設に掲出するサイン、リーフレット、ホームページ等で施設のアイコンとして使用していきます。

このたび決定したロゴマークと愛称「RINK」をきっかけに、子どもから高齢者まで幅広い世代の皆さまが気軽に集い、健康・子育て・高齢者福祉への関心を高め、さらには世代間交流を通じて、住みたい・住み続けたいと思えるまちを目指してまいります。

### ロゴマークのコンセプト



龍が地域の環となり、人々を乗せ交流を促す場所「RINK」。  
ロゴマークに込めた思いは、龍ヶ崎市民がここに集い、  
多世代、多様性を実現していく未来の暮らしです。

マークについては、  
龍の環は市民一人ひとりを繋げていくその意思を表し、  
龍の中に点在する大中小3つの「円/緑」は、  
高齢者、大人、子どもを表しています。  
また3つの「円/緑」は、それぞれの世代が  
龍の背中に乗っているようにも見え、  
さらには、高齢者、大人、子どもが手と手を取り  
家族のように繋がっているようにも見えます。  
これからの少子高齢化時代に、市民の新しい関係性を  
龍ヶ崎「RINK」から創っていく。  
そのシンボルになるデザインとしました。  
また、ロゴについては、人感を出しながら、  
硬すぎず柔らかかでスマートな印象に。  
誰もが気軽に利用できるようデザインにリズムを持たせています。

### ■ 施設概要と愛称「RINK」の決定経緯

子どもから高齢者まで、全ての市民が健康で安心して暮らし続けるための総合的な支援拠点として、龍ヶ崎市役所保健福祉棟（3階建て）が令和7年4月オープンします。施設の1階は健康・子育て・福祉に関する窓口、2階は主に健康診断を行う場所、3階には施設のコンセプトである「健康・子育て・高齢福祉・市民交流」の4つの機能をつなげるために「多世代交流センター」を設置。

「多世代交流センター」の愛称は、市内外から応募いただいた561点の中から選定し、令和6年10月に「RINK」に決定しました。



担当課

龍ヶ崎市 総務部 管財課 再生戦略グループ  
担当者：清原（きよはら） 連絡先：0297-60-1533（直通）